

外傷における包括的長期予後データベースの構築とテーラーメイド型退院後医療の確立 ～中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の自然史、QOL、社会復帰に関する多施設共同研究～

倫理委員会審査承認日から 2024 年 7 月までに当院に搬送された中等症から重症の外傷患者さんのうち、ご自身もしくは代諾者の同意が得られている方が対象です。

研究協力をお願い

当科では「外傷における包括的長期予後データベースの構築とテーラーメイド型退院後医療の確立～中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の自然史、QOL、社会復帰に関する多施設共同研究～」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、倫理委員会審査承認日より 2024 年 7 月 31 日までに日本医科大学千葉北総病院を含む医療機関に搬送された外傷患者さんの診療経過、退院後の予後、生活状況を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。担当者から直接の説明もさせていただきますが、皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：外傷における包括的長期予後データベースの構築とテーラーメイド型退院後医療の確立～中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の自然史、QOL、社会復帰に関する多施設共同研究～

研究期間：倫理委員会審査承認日～2024 年 7 月 31 日

当院における研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 益子 一樹

(2) 研究の意義、目的について

中等症から重症外傷疾患に対する退院後の患者報告アウトカムを中心とした包括的長期予後データベースを構築し、病院生存退院後の自然史・健康関連 QOL を記述し、社会的患者背景や外傷診療システムと長期的予後との関連因子を検証し、患者個人に合わせた最適な“テーラーメイド型退院後医療”を社会に提示することを目指します。これを展開させる事で外傷患者の社会復帰率の向上と医療資源の最適な配置を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

倫理委員会審査承認日より 2026 年 3 月 31 日までに日本医科大学千葉北総病院に搬送された中等症、重症の患者さんについて、患者さんもしくは代諾者の同意を得た上で以下の情報を収集、使用します。

情報：患者さんの社会背景、診療情報、診療経過、退院後の生活に係る情報等

これらの情報は、研究事務局へ電子的登録として提供されます。これらの情報は、匿名化された上で、アクセス権限が付与された者のみ登録できるセキュリティ管理されたウェブ上にて入力を行い、研究グループが管理するサーバーへ電子的に収集されます。各研究機関から収集された全国の情報を用いて、研究グループが解析、検討を行います。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：国立病院機構水戸医療センター

研究全体の責任者：国立病院機構水戸医療センター 救急科 医長 土谷飛鳥

その他の共同研究機関：当院ほか全国約 20 施設

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 助教 益子一樹

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：2400

メールアドレス：kmashiko@nms.ac.jp